

成人看護学方法論 I	2年・前期	1単位	教授 千明 政好
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210632

1. 授業のねらい・概要

本科目は、成人期患者の呼吸器系、循環器系、消化器系、血液・造血器系の急性期（周手術期含む）および慢性期における病態、健康障害がその人に及ぼす影響、看護支援について学ぶ。

2. 到達目標

1. 主な成人期慢性疾患と急性疾患の病態・健康障害の特徴を、日常生活に及ぼす影響を含めて理解する。
2. 手術療法など侵襲的な治療を受ける患者の、周手術期における回復の促進、合併症の予防、精神的支援について理解する。
3. 成人期慢性疾患の特徴と慢性疾患がその人に及ぼす影響、および慢性疾患と共に生きる人々を支援する看護方法を理解する。
4. 患者の安全管理の基本手法（危険予知トレーニング）を理解する。

3. 授業の進め方

講義を中心に進めるが、グループワークを取り入れ、生きた授業になるよう努力する。
学生の主体的な取り組みを期待する。

4. 授業計画（講義・演習）

1. 集中治療と看護の役割	9. 循環器疾患周手術期における看護の特徴とケア
2. 危険予知トレーニング（演習）	10. 循環器疾患慢性期における看護の特徴とケア
3. 危険予知トレーニング（演習）	11. 呼吸器疾患周手術期における看護の特徴とケア
4. 成人の急性疾患・慢性疾患の特徴	12. 呼吸器疾患看護の特徴とケアのポイント
5. 成人の周手術期術前看護	13. 消化器疾患看護の特徴とケア
6. 成人の周手術期術中での看護、麻酔看護	14. 消化器疾患周手術期における看護の特徴とケア
7. 成人の周手術期術後看護	15. 血液・造血器系疾患患者の看護問題とケア
8. 循環器疾患看護の特徴とケア	

5. 成績評価の方法・基準

定期試験 100%で評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：系統看護学講座 成人看護学 [2]呼吸器 [3]循環器 [4]血液 [5] 消化器 医学書院
ナーシンググラフィカ成人看護学④ 周手術期看護 メディカ出版
参考文献：随時紹介する

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

人体の構造と機能の知識を必要とするのでシラバスの範囲をみて、関連するテキストで事前学習して望むこと。
事前学習の必要時間は各自で考え十分に実施すること。最低1時間以上が望ましい。

8. 受講上の留意事項

シラバス該当範囲に関して 30 分以上予習して授業に臨むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

指示した課題は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求める。
定期試験の解答は試験後口頭または掲示でフィードバックする。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

担当する教員は看護師として 20 年以上の臨床経験を持つ。